

令和5年3月17日

## 令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学校名	管理機関名	設置者の別
金武町立金武小学校（外2校）	金武町教育委員会	公立

## 1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
金武町立 金武小学校	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の自己評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ks_syokai/ks-english-01.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-01.html</a>	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ks_syokai/ks-english-02.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-02.html</a>
金武町立 中川小学校	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の自己評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-01.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring /kn_syokai/kn-english-01.html</a>	金武町立中川小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring/kn_syokai/kn-english-02.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kiraring /kn_syokai/kn-english-02.html</a>
金武町立 嘉芸小学校	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の自己評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-01.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg _syokai/kg-english-01.html</a>	金武町立嘉芸小学校ウェブサイト 令和4年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について <a href="http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg_syokai/kg-english-02.html">http://kin-ed.sakura.ne.jp/kagei/kg _syokai/kg-english-02.html</a>

※8月末までに上記URLにおいて公開

## 2. 特別の教育課程の内容

## (1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

## (2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設(外国資本)・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実に建設されており、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

### (3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

### (4) 取組の期間

令和5年3月31日まで

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

### (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

### (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

### (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

## 4. 実施の効果及び課題

### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

本特例は、金武町の立地や生活環境を鑑み、英語を使える人材の育成が望まれている背景から、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進により、本町の掲げる「国際性に富んだ人材

育成」を図ることを目指して、小学1年生から英語活動を行っている。

町独自で行っている児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら英語活動を行っていることが伺える。問2「どんなことが楽しいか」の回答で、②『英語のゲーム』の割合が学年が上がるにつれて高くなっている。これは、『英語のゲーム』が既習の英語を使ったり、新しい英語を定着させるためのクイズなども多いので、児童の学年が上がるほど興味がわき、達成感があるからではないかと考える。同時に、④『新しい英語を覚えること』⑤『上手に話せること』⑥『友達と英語を使って話すこと』の割合が各学年とも一定の割合で高い数値を示していることも良い傾向を示していると思われる。また、問3「英語の授業で友達と楽しむことができる」問5「英語であいさつができる」が高い割合を示していることから、ゲーム等の楽しい活動だけでなく、英語でのコミュニケーションに意欲を示しているといえることができる。また、問9「英語を使って外国の人と話してみたい」、問10「英語を勉強することは大切だと思う」の割合は、全学年で高い割合を示しており児童が英語の授業を前向きにとらえていると考える。

一方、問7「英語の授業で、先生や友達に英語を使って話しかけたりしている」問8「授業以外で、英語の先生に英語であいさつしたり、話しかけたりする」の割合が幾分小さくなっていることについては、廊下などで児童に英語であいさつしたり声をかけるなど教師側の工夫も求められていると言えよう。【別表2】

児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

◇「英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。」の問いに対して

- ・世界中の人と友だちになれるから。
- ・外国に行ったとき自分の気持ちを伝えられないから。
- ・困っている外国人を助けることができるから。
- ・日本のことを外国人に教えられるから。
- ・沖縄は日本人以外の人もいるので、英語で話せることは必要だと思います。
- ・英語を覚えると仕事に入れるかもしれないから。
- ・英語は世界の共通語だから留学などに使うと思ったから。
- ・世界の人と話せると自分の世界が広がるから。

教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

◇「英語活動」を行う上で、児童に変化はありましたか。の問いに対して

- ・将来、英語を使う職業について関心が高まった。
- ・英語を使って話そうとする児童が増えた。
- ・帰りの会での、「いいこと発見タイム」や授業中の発表者に対して、「good job!!」などの声かけができるようになった。また、数を数える際に英語で数えることもある。
- ・日常的な英語で質問したら英語で答えられるようになった。(例→How are you? What day is it, today? How is the weather, today?)
- ・家庭学習でアルファベットや簡単な単語を練習するようになった。
- ・国際交流会でフィリピン出身のALTの先生と交流することで、英語圏やその他の国に興味を持つ子どもが増えてきた。

- ・英語の授業がある日を待ち望んでいる様子が見られた。また、英語の歌やダンス等の活動を積極的に行う児童が多くなった。
- ・引っ込み思案気味な子も積極的に楽しんで参加できるようになった。
- ・発表を恥ずかしがる子が、英語では積極的になったり、英語の歌を歌ったりすることでクラスに一体感が出てきた。
- ・アルファベットを見て、どのような発音をするのか予測できる子が増えている気がする。

◇「英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか」の問いに対して

- ・ALTと協力した授業の進め方が定着してきた。はじめはどのように英語の授業を進めたらよいかわからなかったが、だんだん楽しくなってきた。歌を歌ったり、ダンスをしたりすることで、楽しみながら英語を覚えることができた。
- ・HRTがサブではなく、どんどん発言したり授業を進めたりすることで、自信につながった。
- ・外国籍の子やハーフの子がクラスにいるので、日常的に英語を話すようにし、身近になった。
- ・これまでは、文法とかにとらわれていて、間違えたらどうしようと考えていたけれど、知っている単語で大体伝わたらいいかと思えるようになった。
- ・英語の授業の流れが少しずつですが、わかるようになりました。
- ・英語（話す、書く）に自信を持てるようになった。

保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

- ・たまに学校で習っただろう英語の単語が会話のなかで出てきます。
- ・一年生から英語の学習をするのはとても素晴らしい事だと思います。これからも継続してほしいです。
- ・外国の方（基地内の小学生）とスポーツ交流等があればいいな。と思います。
- ・外国人の先生の話をよくします。本場の外国人から学べる機会ありがたいので、今後も増やしてほしいです。
- ・保育園に通っている時から、月に一度のペースで、米軍基地の方々と交流していたので、外国人の方を身近に感じている様に感じます。また、低学年から、英語の授業があるので、英語の歌を口ずさんだり、単語が出てきたり、日本以外の国のことにも興味があるように感じます。金武町は、海外移民の父、當山久三さんの出身地と言うこともあり、学生の国外へのホームステイなどの取り組みや、英語の授業が充実していると思います。これからも、子供達のために継続してほしいと思います。
- ・日本語以外の言語があり、異言語を話す人たちがいて、外国の文化に触れるということ意識させるという意味合いでの英語教育は効果的だと思います。
- ・他国に比べて日本は先進国なのに英語教育の遅れが明らかです。むしろ、学校では英語での授業をするべきだと思います。
- ・もっと授業数を増やしてほしい。
- ・沖縄県では英語が必要になることが多いので、もっと増やしてほしいです。また、英語を話す保護者の方も多いので、ぜひ交流会のようなものも開いてほしいです。
- ・小学校入学前から英語に力を入れないと、いきなり小学校から始めてもなかなか興味がわかないのかなど、自分の子見てたら思います。逆に、英語の授業がわが子は大嫌いです。上手く話せないのに、

発表させられる事がものすごく嫌みたいです。”

- ・児童英検について、全学年が積極的にチャレンジできるようにしてほしい。

## (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本特例を実施している町内3小学校においては、生徒指導及び特別支援教育の面で長年の課題がある。それに伴い、教科全般の学力についても課題が大きい。全国学力・学習状況調査についても、全国平均を下回り、県や地区の平均も下回っている。

しかしながら、平成27年度から継続して英語活動に取り組んできた児童は、英語に対する意識において成果が上がっている。【別表2】

## 5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

### (1) 成果

- ・児童のほぼ9割が英語の授業を楽しんでいる。
- ・平成27年度から年度を追う毎に英語を使うことへの抵抗感がなくなっている。
- ・保護者の英語教育に対する評価は高く、今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を合計5回実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・昨年度から町内のALT・JTEの先生方に3小学校に来てもらい国際文化交流を実施している。インド、フィリピン、アメリカ、オーストラリアなどの文化を紹介してもらい、児童も日本や地域の文化等を調べ発表するなど良い交流ができ、外国に興味・関心を示す児童も出てきた。

### (2) 課題

- ・担任主導の授業法の推進
- ・チームティーチングの充実
- ・カリキュラムの見直し及び内容充実

### (3) 今後の取組の方向性

- ・互見授業を通じた授業改善
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せ時間の確保
- ・外国人との交流の推進・内容充実

## 6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表1】
- (2) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）【別表2】
- (3) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）【別表3】

(4) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（保護者）【別表4】

【別表1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

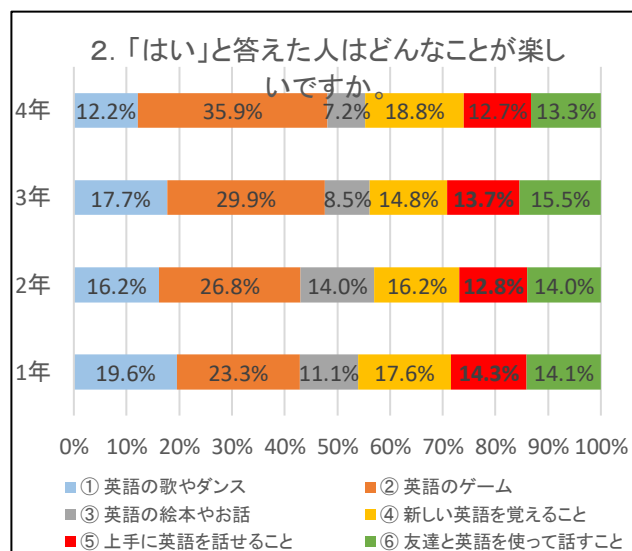
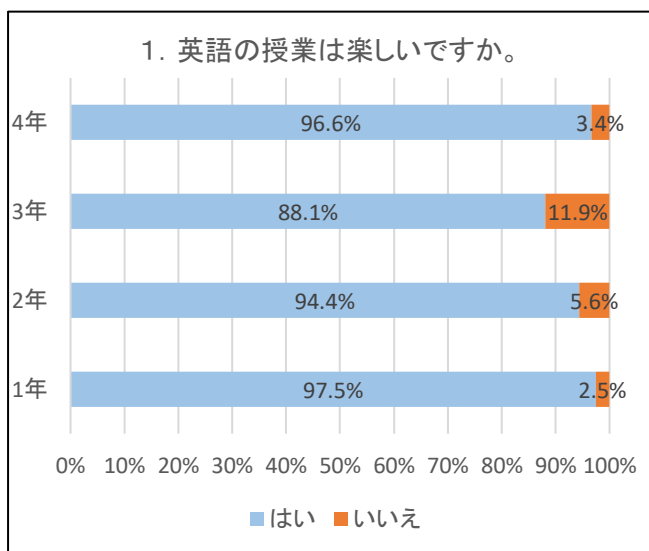
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	授業時数 特別活動の 時間の授業数	総合的な学習の 時間の授業数	外国語活動・外国語 科の授業時数	特別校(英語活動) の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

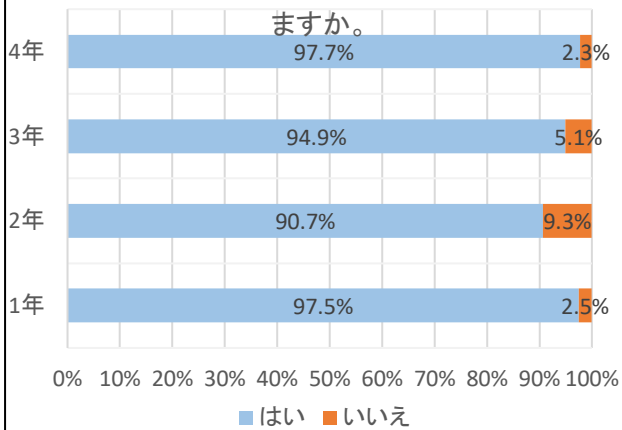
※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を( )で記入し、網掛けにて表記。

【別表2】

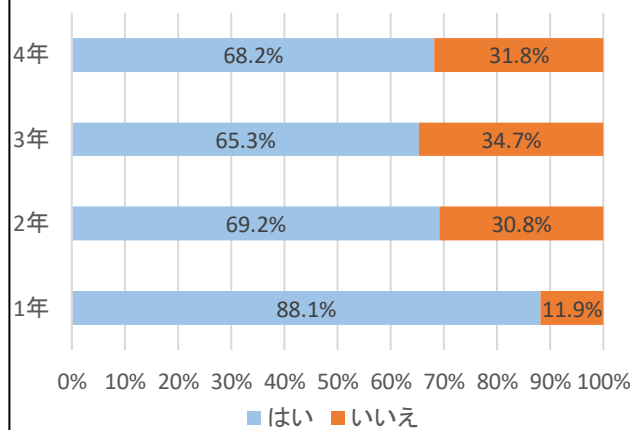
令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年） 集計表 町全体



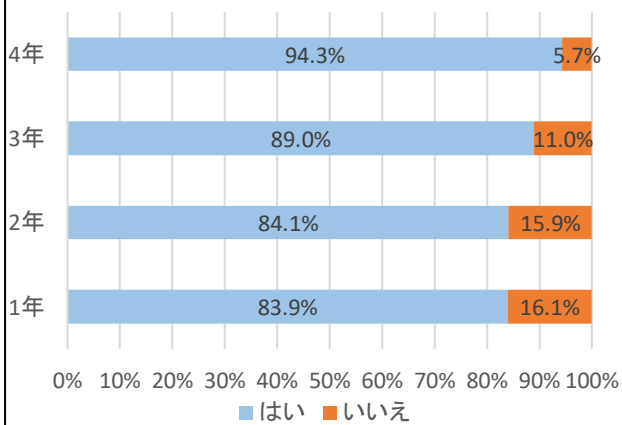
3. 英語の授業で友達と楽しむことができますか。



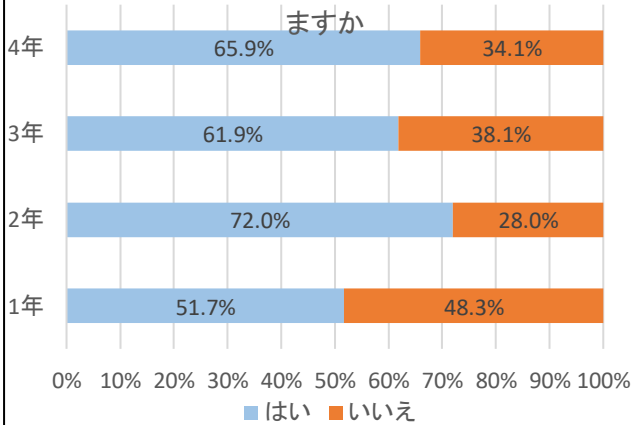
4. 恥ずかしがらずに先生と話せますか。



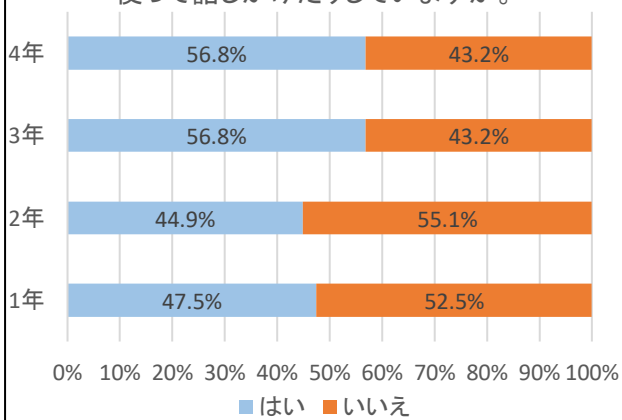
5. 英語であいさつができますか。



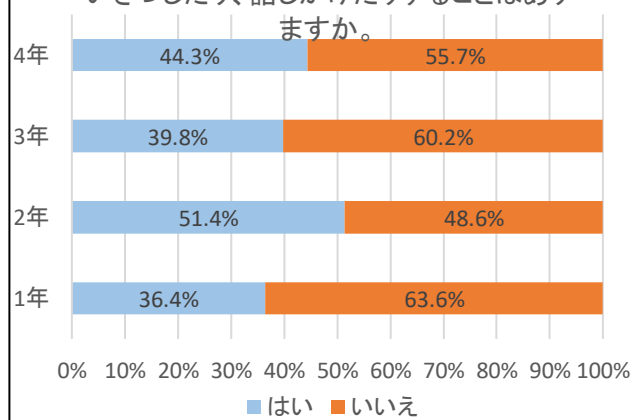
6. 先生の話している英語の意味がわかりますか。

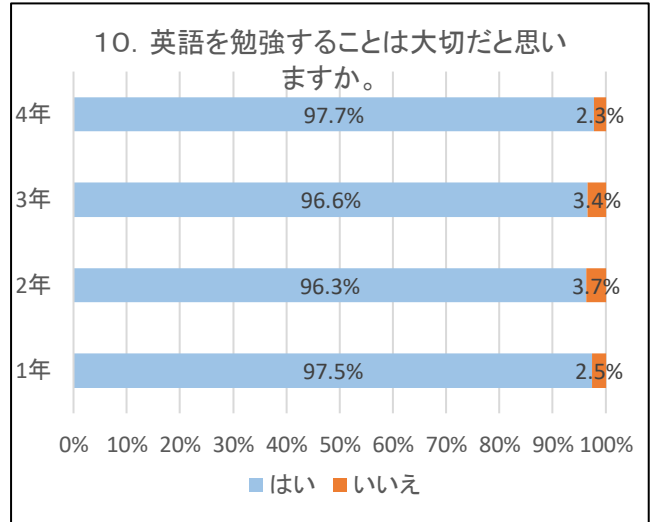
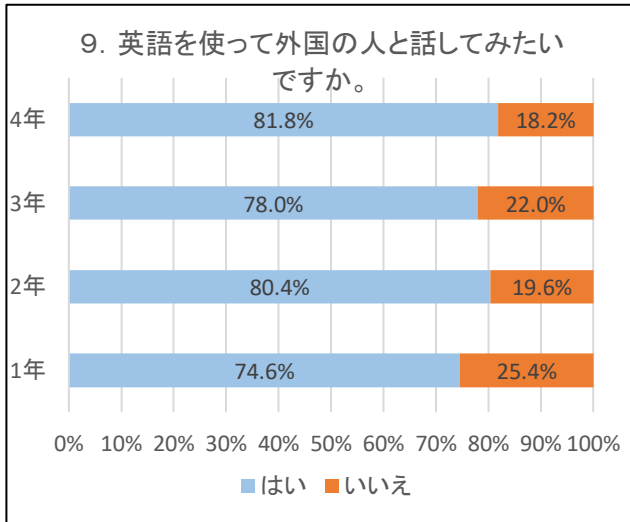


7. 英語の授業で、先生や友達に英語を使って話しかけたりしていますか。

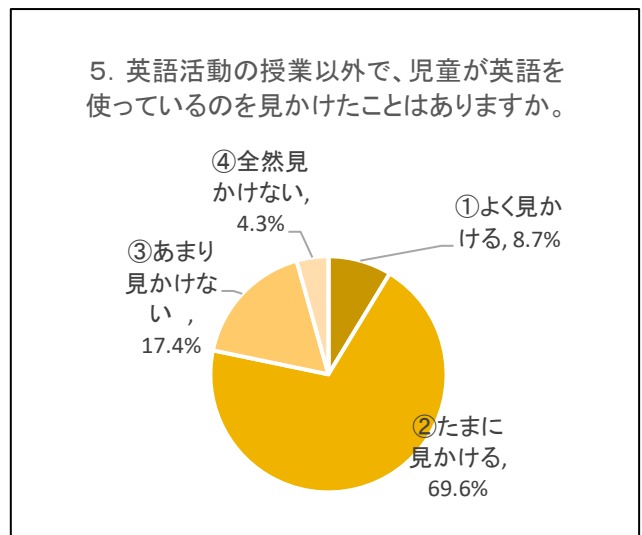
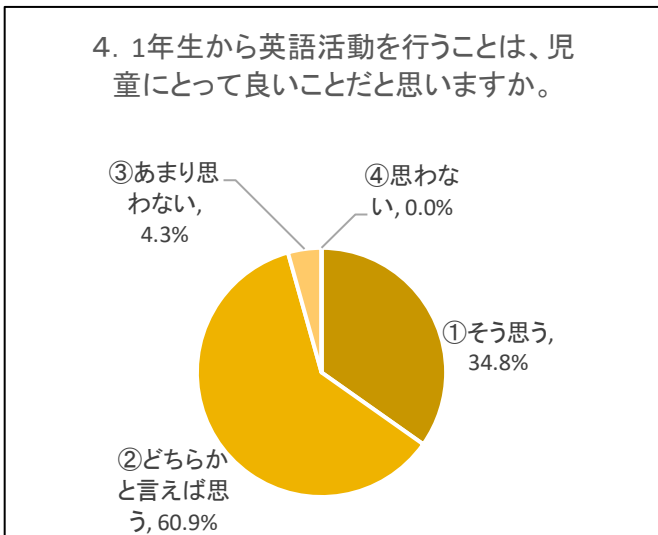
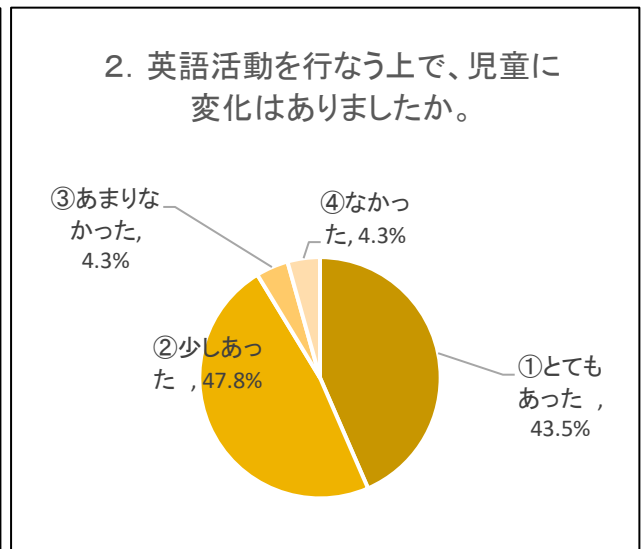
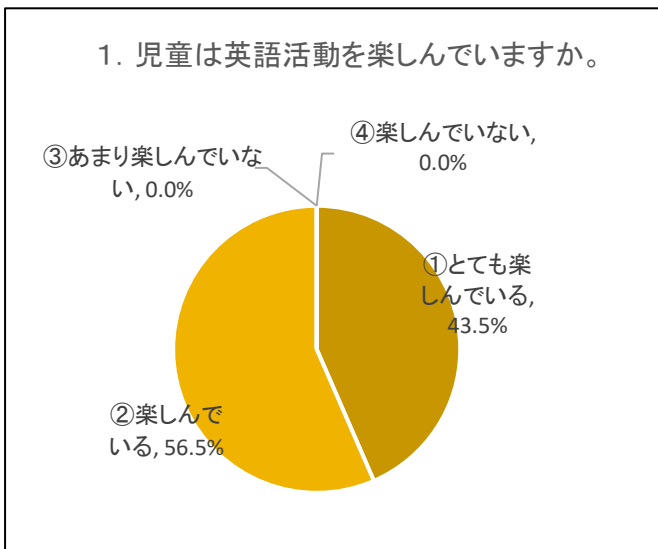


8. 授業以外で、英語の先生に英語であいさつしたり、話しかけたりすることはありますか。



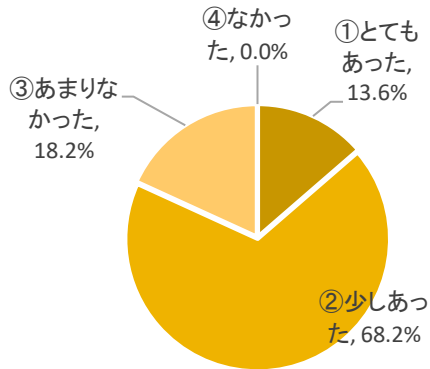


【別表3】令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）町全体

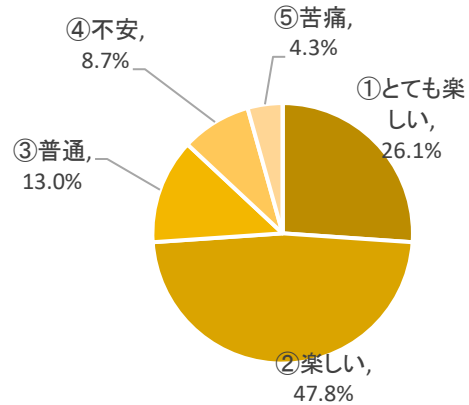




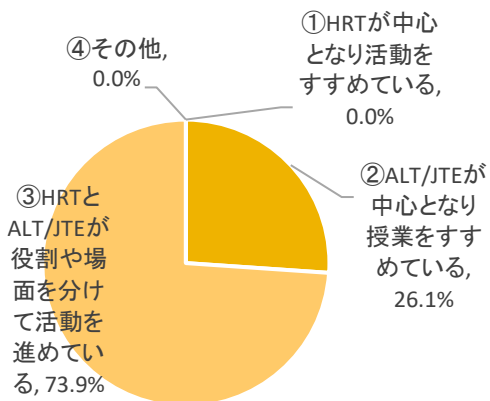
6. 英語活動を行うことで、先生自身に変化はありましたか。



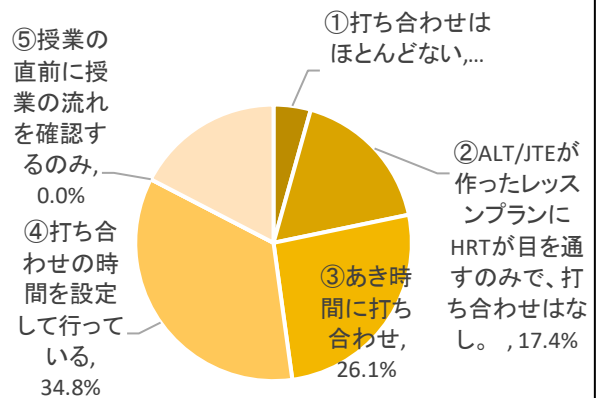
8. 英語活動の授業を行うことをどのように感じていますか。



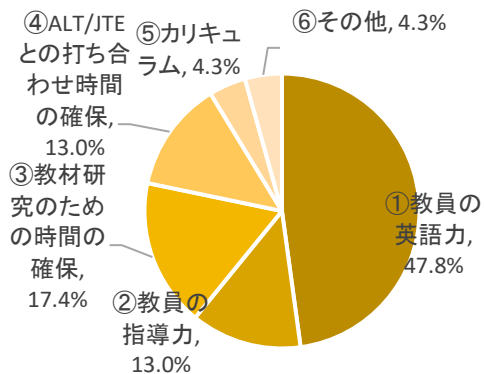
10. TTについて1番近いもの。



11. ALT・JTEとの打ち合わせについて。



12. 英語活動を実施する上で課題だと感じていることは何ですか。



【別表 4】 令和 4 年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）町全体

